

## 桜川市立大國小学校 学校長：宮山 直之

【実施日時】	平成21年1月28日(水) 10時30分～1時30分
【参加者と人数】	全学年170名
【講師】	イネス(アルゼンチン) アン(ケニア) アレックス(ブラジル) ルーベン(中国) ディビッド(メキシコ) アセブ(インドネシア) ゾンゴ(ブルキナファソ) ヴィクトリア(ウクライナ)
【活動内容】	第1部 開会行事 5・6年生によるよさこいソーランでお出迎えする。 はじめの言葉/歓迎の言葉/講師の先生紹介及び自己紹介/本日の活動の説明 第2部 ふれあいタイム(各学年に分かれて交流) あいさつと握手, カラーバスケット, なわとび/折り紙, 空手紹介/フルーツバスケット, 日本文化の紹介/福笑い, 外でいっしょに遊ぶ/自己紹介, 紙飛行機大会/お手玉, コマ, 宝さがしゲーム 第3部 閉会行事 はじめの言葉/お礼の言葉と花束贈呈(各学級代表)/講師の先生方から/校長先生のお話/おわりの言葉/講師退場, お見送り
【参加者の感想】	・アンさんとおり紙でつるをおったり, 空手のしょうかいを楽しそうに見ていました。わたしは, アンさんが日本語をしゃべれるとは思いませんでした。・最初はワクワクでした。アレックスさんに会ったらワクワクがドキドキに変わりました。みんなでゲームや茶道など, いろいろなことで遊びました。・遊びのルールを説明したけれど, 初めはよくわからなくて心配そうでしたが, 遊んでいるうちにディビッドさんが笑ってくれたのでうれしかったです。・アセブさんにインドネシア語で自己紹介するのは, すごく緊張したけれど, いっしょに大縄や紙飛行機で遊んだらすごく楽しかったです。また, いっしょに話したり遊んだりしたいです。・最初はどうかしたらいいかわからなかったけれど, 慣れてきたら言葉ではなくジェスチャーで伝えることができました。どんな方法でも相手とふれあう大切さがよくわかったワールドキャラバンでした。
【担当者の感想】	子どもたちは世界にはいろいろな国があり, いろいろな言葉があることを知りました。特に日本との違いを肌で感じることができ, とても貴重な経験になりました。21世紀を生きていく子どもたちにとって, 国際交流は欠かすことのできない大切な行事だと思います。これからも国際理解を深めるとともにコミュニケーション能力の向上を目指していきたいと思います。

